

# 皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30  
 ◇例会場 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭  
 ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内  
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp



## IMAGINE ROTARY

イマジン  
ロータリー

### 第1605回例会 令和5年1月5日(木)

#### 【会長の時間】

畝 徳治

皆さん、こんにちは。月初めは渋沢栄一さんの話をさせてもらってます。仕事の話と特に高齢になった時のという話があり、その辺についての渋沢さんの意見が面白いと思って取り上げてみました。タイトルの「この熱誠を要す」心を含めるとい意味だと思います。



#### この熱誠を要す

如何なる仕事に対しても、近頃の流行語に興味を持たねばいかぬといいますが、この趣味という語の定義がどの辺にあるか、学者でないから完全なる解釈を下すことはできないが、人が職掌を尽くすということも、(仕事をするとする)この趣味を持つということ深く希望する。趣味という字は理想とも聞こえるし、慾望とも聞こえるし、あるいは好み楽しむというような意味にも聞こえる。趣味を持って事物を処するというのは、わが心から持ち出して、この仕事はかくしてみたい、こうやってみたい、こうなったから、これをこうやったならば、こうなるであろうというように、種々の理想慾望をそこに加えてやって行く。それが初めて趣味を持ったということ、すなわち趣味というのはその辺にあると、私は理解する。(言われたからやるのではなく、自分が興味があるからやるという事と同じ事を指しているのかと思います) 趣味の定義はどうであるか知らぬが、ぜひ人はその掌ることについて、すべてこの趣味を持たれたいと思う。さらに一歩進んで、人として生まれたならば、人たる趣味を持って尽くしたいと思う。果たしてこの世に一人前の趣味を持って、その趣味が真正に向上していったら、それこそ相応の功德が世の中に現れ得るであろう。

ある書物の養生法に、もし老衰して生命が存在しておっても、ただ食って、寝て、その日を送るだけの人であったならば、それは生命の存在ではなくして、肉塊の存在である。ゆえに人は老衰して、身体は十分に利かぬでも、心をもって世に立つ者であったら、すなわちそれは、生命の存在であるという言葉があった。人間は生命の存在たり得たい。肉塊の存在たり得たくないと思う。これは私ども顔(たい)齢(れい)の

ものは、(渋沢さんが70代の頃)始終それを心掛けねばならぬ。まだあの人は生きておるか知らんといわれるのは、蓋し肉塊の存在である。もしそういう人が多数あったならば、この日本は生き活きはせぬと思う。今日世間に名高い人で、まだ生きておるかと言われる人がたくさんある。これは、すなわち肉塊の存在である。ゆえに事業を処するにもその通り、ただその務めるだけでなく、そのことに対して趣味を持たなければならぬ。もし趣味がないなら精神がなくなってしまう。ちょうど木偶人と同様になる。かくのごとき訳であるから、何事でも自己の掌ることに深い趣味をもって尽くしさえすれば、自分の思う通りにすべてが行かぬまでも、心から生ずる理想、もしくは慾望のある一部に適合し得るるものと思う。

孔子の言に、「これを知る者は、これを好む者に如かず。これを好む者は、これを楽しむ者に如かず」とある。(仕事でも趣味でも知っているよりは好きになる事が大事で、更に楽しむのが大事だと) 蓋しこれは趣味の極致と考える。自分の職掌に対しては、必ずこの熱誠(まごころ)が強くこもっているさま)がなくてはならぬのである。

仕事は楽しんでやりなさいという事と、その楽しみを続けなさいと私は解釈しました。

#### 【幹事報告】

山田 利明



地区事務所などから年賀状が届いています。また理事役員会が開催されました。

プログラムについては、来週は私が干支の話という事でお話します。19日は休会、26は新年会になります。2月2日は通常例会、9日は秩父との合同例会、16日、高田さんの会員たくわ、18はIMがホテル美やまで開催されます。23日は祝日で休会になります。

1月	5	木	通常例会	理事役員会
	12	木	会員卓話(干支の話)	
	19	木	休会	
2月	26	木	新年会	養浩亭
	2	木	通常例会	理事役員会
	9	木	秩父RC合同例会	長生館
	16	木	通常例会	会員卓話
	18	土	IM	
	23	木	休会	天皇誕生日

# ロータリーの友音読会

2022年2月20日  
国際ロータリー 第2650地区  
職業奉仕講演会講演要旨

# SPEECH

## 人間とAIが共生する 職業の近未来のカタチ

「AI」とはあくまでも道具、ツールであり、手段であって決して目的ではない。この点をまず皆さんに確認しておきたいと思います。テクノロジーとは、あくまでも人間のためにどう有効活用していくか、が主題になる道具、ツール、手段であって、決してそれ自体が目的ではありません。

日本経済新聞社 コメンテーター 村山 恵一  
Keiichi Murayama

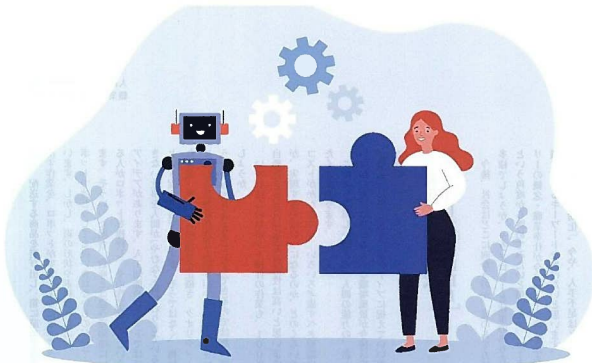
### AIを上手に使えば

何年前かを覚えていないが、ロボットが導入されたのは、人の仕事がどんどんなくなってきている。はたか、か、という不安な気持ちがあった。その頃、私は、AIが人間の仕事を奪うのではなく、人間の仕事を補助するようになる。AIが人間の仕事を奪うのではなく、人間の仕事を補助するようになる。AIが人間の仕事を奪うのではなく、人間の仕事を補助するようになる。

23人のメンバーがインテリジェントに活動している。でも、数年前の本を読みました。その本は、AIが人間の仕事を奪うのではなく、人間の仕事を補助するようになる。AIが人間の仕事を奪うのではなく、人間の仕事を補助するようになる。

令和5年 1月号

ロータリーの友 485



©Stock / BRO Vector

この公役では日本語AIエンジンというものを活用しています。この能力を人間と比較する。設定、書く、話す、この能力を人間と比較する。設定、書く、話す、この能力を人間と比較する。

技能を磨きました。もちろん、これだけでは話術は洗練しませんが、やはり必要に応じて書くべき内容を書き、しゃべり、話術を磨くことが求められます。また、インターネットが普及したことで、情報は簡単に手に入ります。インターネットが普及したことで、情報は簡単に手に入ります。

84 ロータリーの友

2023 VOL.1 NO.1

ます。配送する商品を選び出し、箱に詰めて送り出す作業を、ロボットができるようになってきています。しかし、箱の形状や素材などにより、ロボットではどうしても扱いきれないものが出てきます。そういった場合、倉庫とは違う遠隔地にいる人がロボットを操作し、その作業を行うというアイデアがあります。人工知能やロボットではできない仕事を人間が「やむを得ず」同じやり方しているという捉え方もできますが、そうではなく、微妙な作業、サービスの品質や正確さ、クオリティに関わる重要な任務を人間が担っている、そういう仕組みだと考えることもできるのではないのでしょうか。

いずればこのロボット操作の作業も、100%自動化される日が来る可能性は高いと思います。コストがかかるのはいつになるのか、どのくらいのコストがかかるのか。いろいろ考慮すべき要素はたくさんあります。

このような新しい働き方、人間の能力の、新しい生かし方につながるような職場風景が今後には広がるように思います。ポシティブに捉えていいのではないのでしょうか。



### 四つのテスト

高田 富康会員

私はNHKの深夜放送を聞いています。話の内容は、自動車会社のトヨタ、テスラ、フェラーリの3社を挙げて、トヨタは世界で生産量、販売台数などトップクラスで、燃費も良く、快適でという車を売っている。テスラは、スマホのような電気自動車売っている。フェラーリは新車で最低でも3千万、オプションを付けて4、5千万出さないと買えないという事になっている。

フェラーリを買う人は資産10億円以上、金融資産、土地など含めて10億以上の人が選ぶという事です。世界中に10億円以上の資産を持つ人は5年、10年先に10倍、20倍になるそうです。お金があっても車が好きでなければ買う必要はないですが、資産家が多くなるのでという事で、フェラーリを3社の中を含めたという事です。

## 出席率

免除以外の会員	出席免除会員	出席	メイク	出席率
7	0	3	0	42.9%

